保存版
2022

棚倉町
防災マップ

Tanagura town disaster prevention map



大雨、洪水、土砂災害、地震などの
自然災害はいつやってくるかわかりません。
この総合防災マップを活用し、
地域に存在する危険箇所を把握して、
日ごろの備えと地域の自主防災活動に
取り組みましょう。



わが家の防災メモ

避難所

地震のとき：	大雨・洪水のとき：
土砂災害のとき：	離ればなれになったときの集合場所：

連絡先

氏　名	携帯電話	勤め先・学校の連絡先

棚倉町

町民の皆様へ

「自分の命は自分で守る」を合言葉に

町民の皆様には、日頃より防災行政に対するご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて本町は、平成２３年３月の東日本大震災、最近では令和元年１０月の東日本台風により甚大な被害を受けました。更には、全国各地を見ても、自分たちの力ではどうにもならないような自然災害が多数発生しており、いつまた災害が起きてもおかしくありません。

棚倉町では、これまでに経験した災害だけではなく、想定をはるかに超える災害に備えるため防災マップをリニューアルしました。町民の皆様には、改めて防災への関心と意識を高め、災害への備えをお願いします。

私たちが、防災・減災を考えるとき「自助」「共助」「公助」の３つが重要であり、これらを連携することが不可欠となっています。

「自助」＝自分自身（家族も含む）の身の安全を守ること。

「共助」＝地域や周囲の人たちが協力して助け合うこと。（自主防災組織等）

「公助」＝町や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助や援助。

「公助」はもとより、この「自分の身は自分で守る（自助）」「自分たちの地域は自分たちで守る（共助）」の意識を高めていただき、日頃から災害に備えて頂くことが、被害を軽減するために重要であることをご理解いただくとともに、防災対策として防災マップを目の届くところに常備し、ご家族や各地域において役立てて頂きますようお願い申し上げます。

令和４年2月

棚倉町長 湯座一平

索引

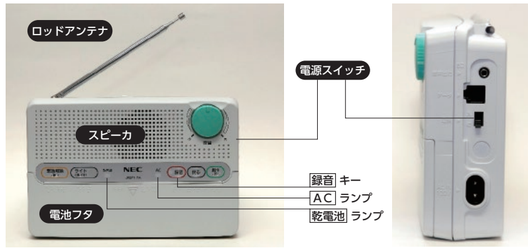
町民の皆様へ・索引	1	詳細図No.1	17・18
防災行政無線・登録制メールについて	2	詳細図No.2	19・20
避難行動ガイド①	3	詳細図No.3	21・22
避難行動ガイド②	4	詳細図No.4	23・24
特別警報をご存知ですか？	5	詳細図No.5	25・26
風水害情報について	6	詳細図No.6	27・28
土砂ハザード情報について	7	詳細図No.7	29・30
洪水ハザード情報について	8	詳細図No.8	31・32
地震対策について	9	詳細図No.9	33・34
火災対策について	10	詳細図No.10	35・36
非常時持出品の準備＆チェック	11	詳細図No.11	37・38
我が家のマイ・タイムライン、災害用伝言ダイヤル	12	詳細図No.12	39・40
避難場所・避難所・一時避難所・福祉避難所・AED設置一覧	13・14	詳細図No.13	41・42
		詳細図No.14	43・44
棚倉町全図	15・16	詳細図No.15	45・46

防災行政無線・登録制メールについて

防災行政無線の基本操作です

［※「防災無線が壊れてる」とのお問い合わせのほとんどが電池が切れている状態です。まずは下記の取扱いをご確認願います。］

避難所の開設や土砂災害警戒情報等の避難に係る情報は、テレビ・ラジオ・インターネットのほか、町の防災行政無線で放送します。災害に備えて、日頃から戸別受信機の使用方法について正しく理解しておきましょう。



戸別受信機のランプについて

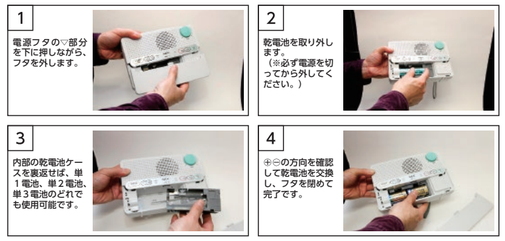
●正常な動作

録音ランプ	橙	点滅	未再生の放送が録音されているとき
	緑	点灯	留守録音設定中 ※録音ボタンを押し、ピピッという音がしたら解除
	緑	点滅	留守録音設定中かつ未再生の通報内容が録音されているとき
ACランプ	緑	点灯	電波が正常に受信できているとき
乾電池ランプ	赤	点灯	停電時など乾電池で作動しているとき

●異常な動作

録音ランプ	赤	点滅	録音動作ができない ※故障の可能性があります。
ACランプ	―	消灯	電波状態不良 ※消灯又は点滅時は電波の状態が悪い可能性があります。 ロッドアンテナを伸ばし、窓際等の電波が入りやすい場所へ受信機を置いてください。
乾電池ランプ	赤	点滅	乾電池の交換が必要です。

乾電池を交換する



防災行政無線は、住民課窓口で貸出しています。

「登録制メール」により防災・災害情報を配信しています

町では、全国瞬時警報システム（Ｊアラート）の充実を図るため、「登録制メール」・「緊急速報メール（エリアメール）」・「町のホームページ」・「町 Facebook」・「町 Twitter」へ自動連携するシステムを運用しています。
町域にかかる気象情報や警報、地震時の震度情報（震度 4 以上）、ミサイル攻撃やテロ攻撃などの国民の安全確保にかかわる情報など、災害に関する情報を配信します。
緊急速報メール（エリアメール）を利用している方も、災害に対する備えとして、登録制メールをご利用ください。

登録制メールとは

皆さんが持っている携帯電話やスマートホンのメールアドレスを町に登録すると、国からの気象情報・国民保護情報のほかに、町からの災害時における避難指示**や避難所の開設**などの棚倉町に関する情報が、棚倉町を離れていても、登録者に配信されます。

緊急速報メール（エリアメール）とは

情報配信時に通話中などの場合には受信できません。また、町の情報が配信された際に原則的に町内にいなければ受信できません。

さらに、登録制メールと同時に配信された時には、数分後に受信することがあります。

登録制メール 新規登録の流れ

※【登録の前に】 迷惑メール設定を行っている方は配信されるメールアドレスの＠以降「raiden3.ktaiwork.jp」を個別受信指定ドメインに指定してください。設定方法等の詳細は各携帯会社に問い合わせてください。

登録の方法

1 次の登録用メールアドレスに、件名・本文を入力せずにメールを送信します。

bousai.tanagura-town@raiden3.ktaiwork.jp

左のQRコードからもアドレスを読取ることができます。

2 返信されたメールに記載されたURLへアクセスしてください。

Sub:メールサービス本登録のご案内
From:tanagura-townl@raiden3.kta*****
福島県棚倉町防災情報メール
メールサービスの仮登録が完了しました。まだ登録は完了していませんので、以下のURLから一週間以内に本登録を実施してください。
https://raiden2.ktaiwork.jp/register?XXXXXXX

3 入力内容を確認のうえ、「次へ」を押してください。

ユーザー情報登録
○メールアドレス
XXXXX@XXX.XXX.jp
次へ

4 内容を確認して「登録」を実行してください。しばらくすると登録完了メールが届きます。

設定内容の確認
次の内容でよろしければ「登録」を、再度編集する場合は「戻る」を選択してください。
○メールアドレス XXXXX@XXX.XXX.jp
戻る 登録

・メール受信例

Sub:防災情報
From:tanagura-town@raiden3.ktaiwork.jp
棚倉町からお知らせします。
○時○分、避難準備情報を発表しました。
今後の情報に注意してください。

登録内容の変更・配信解除は次のリンク先にアクセスしてください。
https://raiden3.ktaiwork.jp/service/narakawanisihitown/register/**********

■問合せ先　住民課

☎0247-33-2116

避難行動ガイド❶

分散避難

避難所（避難場所）に行くことだけが避難ではありません。
避難所の密集を避けるためにも、状況に応じた「分散避難」という取組も重要になってきています。

避難所（避難場所）への避難



- 自宅の水害・土砂災害の危険性が高い。
- 避難できる親戚・知人宅がない。

➡ **市町村が開設した避難所（避難場所）へ。**

在宅避難



- 「家屋倒壊等氾濫想定区域」に入っていない。
- 居室が浸水深より高い。
- 水・食料等の備えが十分で水がひくまで我慢できる。

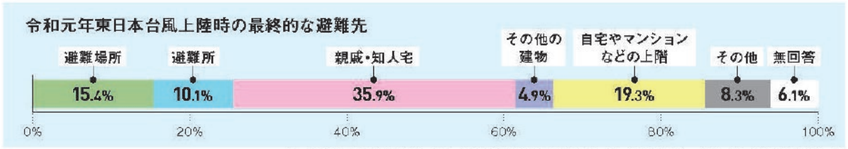
➡ **自宅にとどまる。**（自宅内の安全な場所へ移動）

親戚・知人宅やホテル・旅館への避難



- 親戚・知人宅やホテル・旅館が水害・土砂災害の危険性が低い。
- 避難できる親戚・知人宅がある。

➡ **親戚・知人宅やホテル・旅館に身を寄せる。**親戚・知人には日頃から相談しておきましょう。



出典：福島県台風第19号等に関する災害対応検証委員会「令和元年台風19号等に関する災害対応検証報告書」

【車で避難する場合】

水害・土砂災害の危険が迫っている場合、車での避難は危険です。
「まだ大丈夫」と移動したのち、急に周辺の水位が上がり、車内から脱出できなくなってしまう可能性があります。

やむを得ず、車での避難や車中泊を行う場合には、
●雨がひどくなる前の明るい時間帯に、浸水しない安全な場所に移動しましょう。
●トイレなどに困る場合がありますので、簡易トイレの準備も必要です。
●エコノミークラス症候群や熱中症に十分注意し、軽い運動やこまめな水分補給等を行いましょう。



大雨のとき

土砂災害警戒情報が発令され危険が高まった地区に対して、町が設定している基準に達した場合に高齢者等避難開始、避難指示、緊急安全確保を発令します。また、高齢者等避難開始が発令されずに避難指示が発令される場合もあります。

※特に土砂災害警戒区域にお住まいの方は、早め早めに判断をして、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れる自主避難をすることが命を守ることになります。



浸水のとき

大雨のとき同様に、設定している基準に達した場合は、避難指示等が発令されます。

※特に浸水想定区域にお住まいの方は、早め早めの判断をし、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れる自主避難をすることが命を守ることになります。

地震のとき

大きな地震やそれに伴う余震により家屋が倒壊し、又は倒壊するおそれがあるときに避難指示を発令します。

※直ちに避難所を開設するよう努めますが、災害の規模により時間がかかる場合があります。



火災のとき

大規模な延焼拡大のおそれがあるときに、避難指示を発令します。



その他

その他災害が発生するおそれがあるときに、避難指示を発令します。

避難行動ガイド❷

住民の皆さまが、「自らの命は自らが守る」という意識のもと、自主的な避難を行うために、気象庁及び県では防災気象情報を提供し町では避難情報を5段階の警戒レベルにより発令します。
日頃からいざという時に備えて、災害時の取るべき行動の確認をお願いします。



それぞれの**警戒レベル**に相当する情報を、**早めの避難行動の判断**に役立ててください。
町からの**避難指示等の発令に留意**するとともに、避難指示等が発令されていなくとも**自ら避難の判断**をしてください。
警戒レベル５の状況では災害が発生して避難できなくなることから、**警戒レベル３や４の段階で避難することが重要**です。

各種災害について、町が発令する避難情報を5段階に整理しました。

警戒レベル	状　況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険　直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
		＜警戒レベル4までに必ず避難!＞	
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

※1　市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル５は必ず発令されるものではない
※2　警戒レベル３は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである

Q&A

質問１）防災気象情報は出てるけど、避難情報が出ていないときはどうすればいいの？
⇒町は、様々な情報をもとに、避難情報を発令する判断を行うことから、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。**自らの命は自ら守る意識を持って、防災気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとってください。**

質問２）洪水で「警戒レベル４相当情報」が既に出ているなかで、土砂災害で「警戒レベル３相当情報」が出たけど洪水のレベルも４から３に下がったということなの？
⇒洪水の危険性が４から３に下がったわけではありません。洪水は４のままで、土砂災害の３が追加されたものであり、**その地域は洪水と土砂災害、両方の災害を警戒する必要があります。**

【警戒レベル５】では既に災害が発生しています。
【警戒レベル３】や【警戒レベル４】で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。
普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

※高潮、波浪、火山噴火、津波について、棚倉町は該当なし。

表中の”数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

地震警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
地震（地震動）	震度6弱以上の大きさの地震が予想される場合 （緊急地震速報（震度6弱以上）を特別警報に位置づける）
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 （噴火警報（噴火警戒レベル4以上）及び噴火警報（居住地域）を特別警報に位置づける）
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合（大津波警報を特別警報に位置づける）

特別警報が発表されたら

- **尋常でない大雨や暴風等が予想されています。**
- **重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。**
- **ただちに身を守るために最善を尽くしてください。**

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



テレビ・ラジオ　インターネット・気象庁HP・登録制メール　防災行政無線・広報車

・「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

自分の命は自分で守ることが大原則です。身の安全を確保するためには、普段から、災害情報の収集のほか、備えを大切にしてください。

風水害情報について

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨注意報・警報の発表基準

	大雨注意報	大雨警報
	大雨によって災害が起こるおそれがあると予測される場合	大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予測される場合
	・表面雨量指数（注1）10 ・土壌雨量指数（注2）71	（浸水害）表面雨量指数19　（土砂災害）土壌雨量指数113
		記録的短時間大雨情報　1時間に雨量100mm

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

雨の強さと降り方

1時間に10～20mm	1時間に20～30mm	1時間に30～50mm	1時間に50～80mm	1時間に80mm～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要

風の強さと吹き方

風速10～15m/s	風速15～20m/s	風速20～25m/s	風速25m/s～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立っていられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/秒以上の半径
大型（大きい）	500km以上800km未満
超大型（非常に大きい）	800km以上

強さ	最大風速
強い	33m／秒以上44m／秒未満
非常に強い	44m／秒以上54m／秒未満
猛烈な	54m／秒以上

台風時によく耳にする言葉が『hPa（ヘクトパスカル）』ですが、hPaは台風の中心気圧を見るもので、数値が低い方が勢力が大きくなります。
参考：令和元年東日本台風は915hPaでした。

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して多量の雨が降ることで、「ゲリラ豪雨」とも言われています。
発生の予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。



注1　表面雨量指数：短時間の強い雨による浸水害の危険度の高まりを把握するための指数。降った雨が地中に浸み込まずに、地表面にどれだけ溜まっているかを指数化したもの。
注2　土壌雨量指数：大雨による土砂災害の危険度の高まりを把握するための指数。降った雨が土壌中にどれだけ溜まっているかを指数化したもの。

土砂ハザード情報について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所・避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

土砂災害の種類

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



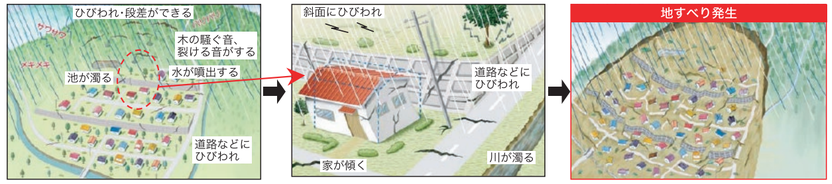
土 石 流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、市町村長の避難指示等の判断を支援するよう、また、住民の自主避難の参考となるよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。

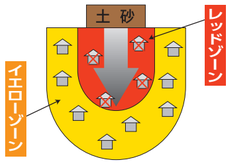
土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、特に早めの避難が重要です。棚倉町からの避難に関する情報に留意するとともに、土砂災害警戒情報を自主避難の参考にしてください。土砂災害警戒情報が発表されたときは、対象市町村内で土砂災害発生の危険度が高まっている領域を土砂災害警戒判定メッシュ情報（気象庁HP）でご確認ください。周囲の状況や雨の降り方にも注意し、危険を感じたらためらうことなく自主避難をお願いします。

尚、詳細図に掲載している土砂災害警戒区域等の指定箇所は令和3年10月現在のものです。

危険箇所内の重要性の高い箇所について

土砂災害防止法に基づき、福島県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定及び見直しが行われています。

土砂災害 特別警戒区域（レッドゾーン）	建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域
土砂災害 警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害のおそれがある区域



洪水ハザード情報について

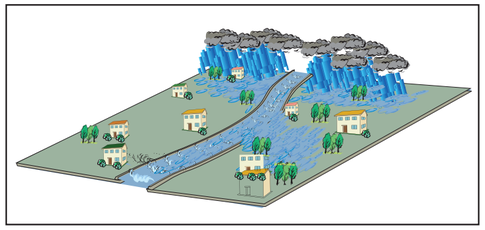
社川・久慈川で浸水域の公表がありました。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 氾濫（はんらん）の種類

●雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、排水が間に合わず、排水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

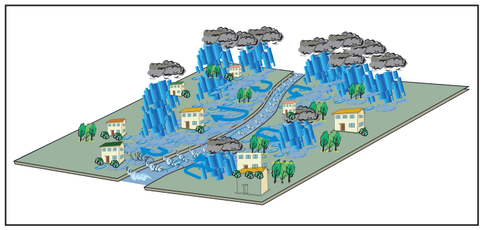
外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

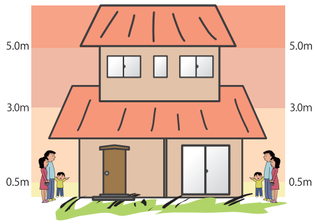


2 説明（外水氾濫）

●この「マップ」で使用している洪水ハザード情報は、社川・久慈川が、大雨によって氾濫した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したものです。

●雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。

●川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害（床上・床下浸水など）が起こる場合があります。十分注意しましょう。



社川・久慈川の改正後の目安

5.0m 以上の区域	―――
3.0m～5.0m 未満の区域	2 階の軒下まで浸水する程度
0.5～3.0m 未満の区域	1 階の全てが浸水する程度
0～0.5m 未満の区域	大人の膝まで浸水する程度

3 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報（気象庁）

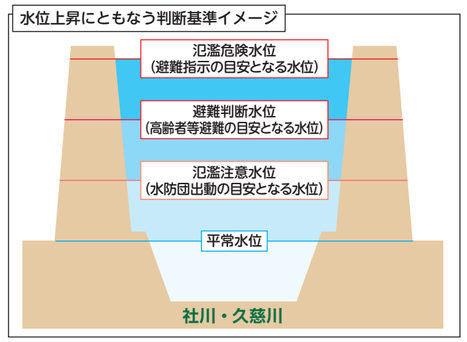
●洪水によって災害がおこるおそれがある場合、その旨を注意して行う予報。

洪水警報（気象庁）

●洪水によって重大な災害がおこるおそれがある場合、その旨を警告して行う予報。

指定河川洪水予報など

●社川・久慈川については、福島地方気象台が予測する降水量をもとに、河川を管理する福島県が河川水位の危険度を予測し、共同発表します。



地震対策について 地震発生！そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

2〜5分

とにかく自分の身を守ろう！



●**地震だ！まず身の安全**
大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まず身を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。

しっかり火の始末で、火災防止！

●**大揺れがおさまった**
台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉めましょう。

5〜10分

わが家の安全の確認、確保！



●**火の始末のあと**
家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。
また、避難可能な出口も確保しましょう。

10分〜半日

隣近所の安否確認、助け合い！



●**外に出たあと**
家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。

半日〜3日

2、3日は自分でしのぐ！

●**避難後、数日間**
地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。
この間、日頃から、生活必需品（非常用品）を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。

屋内にいた場合

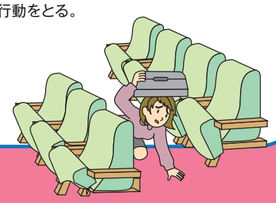


家の中
- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 揺れがおさまったら火の確認はすみやかに（コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに）。
- 乳幼児や病人、高齢者など要支援者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない（ガラスの破片などでケガをする）。

デパート・スーパー
- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

集合住宅
- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

劇場・ホール
- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてずに冷静な行動をとる。



屋外にいた場合

路　上



- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難する。
- 近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

車を運転中
- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

海岸付近
- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

電車などの車内
- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



火災対策について 火災発生！そんなときどうする

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。
初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1 早く知らせる



- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければフライパンなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな出火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のものを活用する。

火元別初期消火のコツ

油なべ
あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

石油ストーブ
真上から一気に水をかけて消火（斜めにかけると石油が飛び散って危険）。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

衣　類
あわてて走り回ると危険。水が近くにあれば、直接かけて消火を。水がない場合は手で顔をおおいながら転げ回って消火を。

風呂場
風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

電気製品
いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて（できればブレーカーも切る）消火を。

カーテン・ふすま
カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

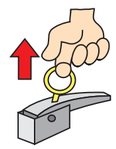
3 早く逃げる



- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。

消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指をかけ上に引き抜く。



ホースをはずして火元に向ける。



レバーを強く握って噴射する。

消火器のかまえ方



- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正面から立ち向かわないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

火災警報器の設置義務化

消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。
火災警報器設置率全国82.6% 棚倉町68.2%
※令和3年1月末時点

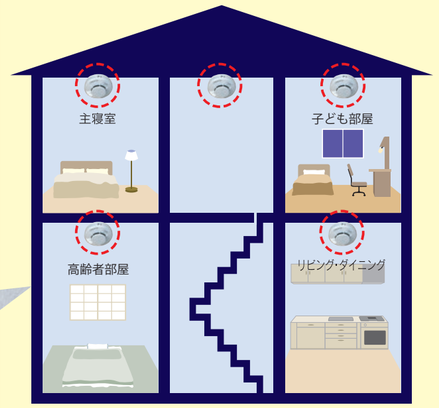
火災警報器の設置場所

- 寝　室…すべての寝室（子ども部屋や高齢者の部屋など就寝に使われている場合は対象となります）への設置が必要です。
- 階　段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台　所…台所については、設置をおすすめします。

注意：住宅用火災警報器は電池式のものが主流です。電池の寿命は５年から10年と言われていますので、早めの交換をお願いします。
警報器の音を事前に確認することも重要です。



火災警報器



住宅内取付位置図

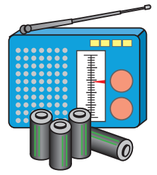
非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品（例）

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

携帯ラジオ



- □ ラジオ
- □ 電池（多めに用意）

救急医療品



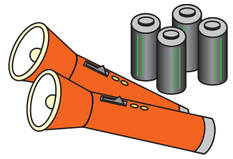
- □ 常備薬
- □ 絆創膏
- □ 傷薬
- □ 包帯
- □ 風邪薬
- □ 胃腸薬
- □ 鎮痛剤

貴重品



- □ 現金
- □ 預貯金通帳
- □ 印鑑
- □ 免許証
- □ 健康保険証
- □ 権利証書

懐中電灯



- □ 懐中電灯（出来れば一人にひとつ）
- □ 電池（多めに用意）

非常食品等

- □ 非常用食品
- □ ミネラルウォーター
- □ 離乳食
- □ 粉ミルク

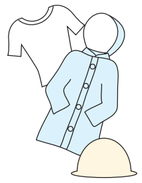


衛生用品

- □ マスク
- □ 体温計
- □ 手洗い洗剤
- □ アルコール消毒液
- □ 台所用洗剤

※感染症対策用品

その他



- □ 衣類（下着・上着など）
- □ 生理用品
- □ 缶切り
- □ 紙皿
- □ ウェットティッシュ
- □ ヘルメット
- □ 防災マップ（本書）
- □ ホイッスル
- □ タオル
- □ 紙おむつ
- □ 栓抜き
- □ 紙コップ
- □ カッパ
- □ ライター
- □ ラップフィルム（止血や食器にかぶせて使う）



非常時用備蓄品（例）

災害復旧までの数日間（一週間）を生活できるようにチェック☑しましょう。

飲料水



- □ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター（1人1日3リットルを目安に）又は貯水した防災タンクなど

非常食品



- □ お米（缶詰・レトルト・アルファ米も便利）
- □ 缶詰・レトルト食品
- □ 梅干し・調味料など
- □ ドライフーズ・チョコレート・アメ（菓子類など）

燃　料



- □ 卓上コンロ
- □ ガスボンベ
- □ 固形燃料

その他



- □ 生活用水（風呂・洗濯機などに貯水）
- □ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- □ 調理器具（なべ・やかんなど）
- □ バケツ・各種アウトドア用品など

非常時持出品は定期的に点検を！

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持出用品の不備を定期的に点検しましょう。

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具（マジックなど）、スコップなど。



過去の震災時に役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するときに支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

我が家のマイ・タイムライン、災害用伝言ダイヤル

マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、台風接近などの大雨により、水害・土砂災害の危険性が高まってきた時に、家族や自分自身がとる行動を時間経過にあわせて整理するものです。
いざという時に慌てないように書き込み、ご家族で共有しましょう。

●自宅の危険性　⇒　防災マップや関係機関ホームページで情報を収集

- ・土石流警戒区域、急傾斜の危険な区域となっている　□ はい　□ いいえ
- ・最寄り河川の浸水想定区域である　□ はい　□ いいえ
- ・ため池の浸水想定区域である　□ はい　□ いいえ

●避難先（通行止め等の可能性もふまえ、複数のルートを確認しましょう）

□ 町の指定場所　□ 親戚・知人宅　□ 自宅の安全な場所　□ その他

- ・避難先（第１候補）＿＿＿＿＿＿＿＿　移動手段＿＿＿＿＿＿
- ・避難先（第２候補）＿＿＿＿＿＿＿＿　移動手段＿＿＿＿＿＿

夜間や激しい雨により視界が悪い時、避難に危険が伴う時は、自宅の安全な場所（２階や山側の反対側）に避難し安全を確保することや、また、家族が離れ離れになっているときの集合場所を決めておくことも大切です。

警戒レベル	1	2	3	4	5
避難情報	早期注意情報	注意情報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
警戒レベルごとに、何をするべきか記入しましょう。					
記入例	・持出品の確認 ・台風の情報収集	・防災マップの確認（避難経路など）	・祖父母の避難開始 ・避難準備開始	・危険な場所から避難する（避難完了）	・自宅の２階など、少しでも安全な場所に移動する

災害用伝言ダイヤル

災害伝言ダイヤル　171

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「声の伝言版」です。

伝言の録音

伝言の再生

1 7 1 → 1（録音）／2（再生）

- 0 2 4 7 － □□ － □□□□（固定電話）
- 0□0 － □□□□ － □□□□（携帯電話）

※詳しい内容は NTT のホームページで確認してください。

携帯電話災害用伝言版サービス

大規模な災害が発生した場合、携帯電話各社のトップに「災害用伝言板」が追加され、自ら安否状態を登録することが可能になり、登録された伝言は、インターネットや携帯電話などから確認できます。

※使用にあたっては、各携帯電話会社のホームページで確認してください。

避難所・避難場所・福祉避難所・AED設置一覧

令和3年3月現在

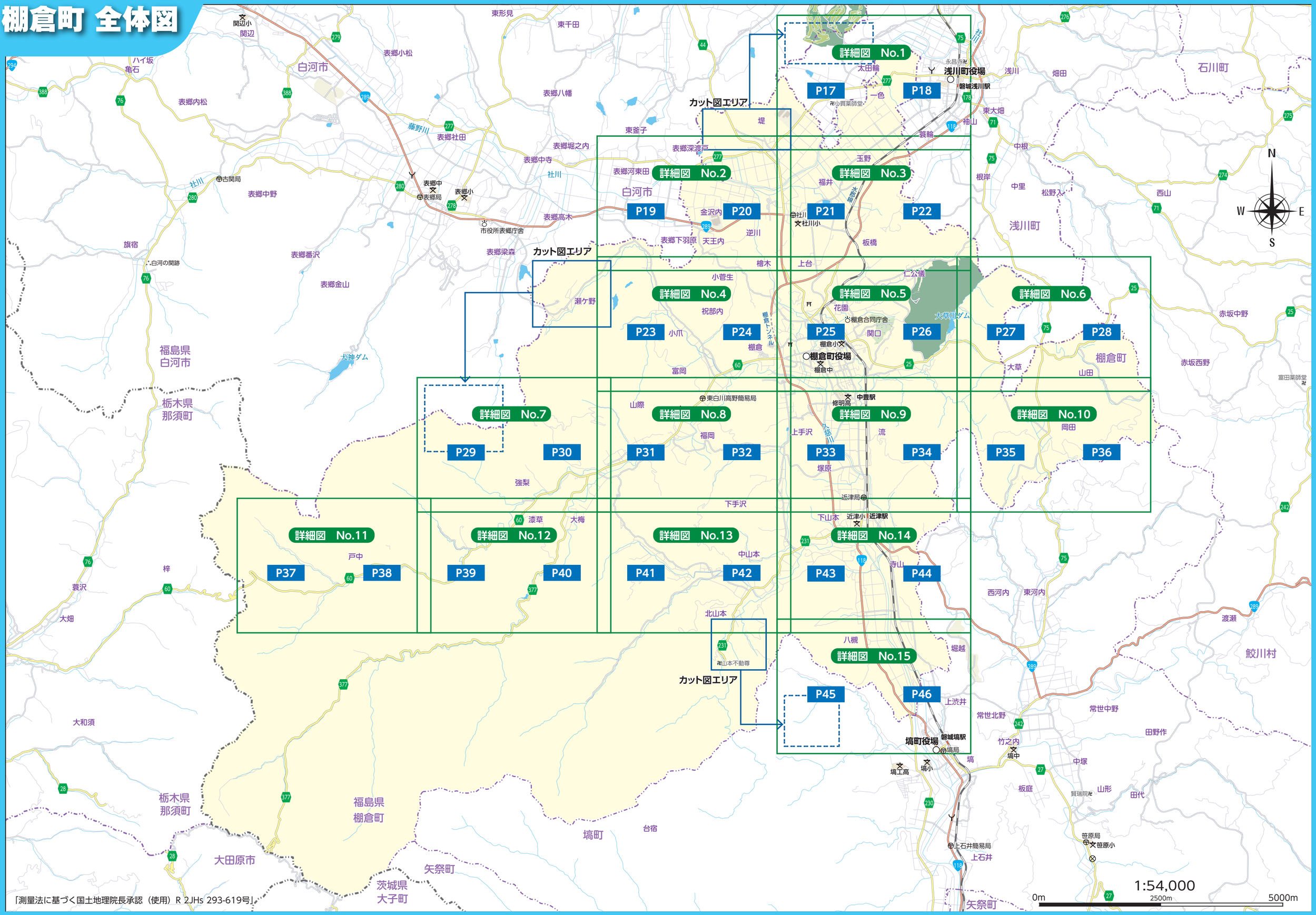
No.	名　称	所在地	掲載頁	指　定 避難所 （屋内）	指定緊急 避難場所 （屋外）	一　時 避難所	福　祉 避難所	AED	適合する災害種別			
									洪水	土砂 災害	地震	火災・ 他
1	棚倉町役場	棚倉字中居野 33	P25	●				●	○	○	○	○
	棚倉町役場駐車場				●				○	○	○	—
2	亀ヶ城公園	棚倉字城跡 26-2	P25		●				○	○	○	—
3	城跡多目的広場	棚倉字城跡	P25		●				○	○	○	—
4	棚倉町総合体育館	関口字一本松 24-1	P25	●				●	○	○	○	○
	棚倉町運動広場				●				○	○	○	—
5	近津運動広場	八槻字上台 200	P43		●				○	○	○	—
6	社川運動広場	逆川字向原 28	P21		●				—	○	—	—
7	金沢内運動広場	金沢内字中背戸続 123	P19		●				○	○	○	—
8	棚倉町文化センター	関口字一本松 58	P26	●				●	○	○	○	○
	棚倉町文化センター駐車場				●				○	○	○	—
9	棚倉小学校体育館	棚倉字北町 118-1	P25	●				●	○	○	○	○
	棚倉小学校校庭				●				○	○	○	—
10	社川小学校体育館	逆川字山梨子山 19	P21	●				●	○	○	○	○
	社川小学校校庭				●				—	○	—	—
11	高野小学校体育館	山際字仙石 103	P31	●				●	○	—	○	○
	高野小学校校庭				●				○	—	○	—
12	近津小学校体育館	下山本字桃木田 34	P43	●				●	—	○	○	○
	近津小学校校庭				●				—	○	○	—
13	旧山岡小学校体育館	岡田字上ノ内 92	P35	●				●	○	○	○	○
	旧山岡小学校校庭				●				○	○	○	—
14	棚倉中学校体育館・柔剣道場	棚倉字城跡 88-5	P25	●				●	○	○	○	○
	棚倉中学校校庭				●				○	○	○	—
15	棚倉幼稚園施設内	棚倉字宮下 138	P25	●				●	○	○	○	○
	棚倉幼稚園園庭				●				○	○	○	—
16	社川幼稚園施設内	逆川字山梨子山 7-6	P20・21	●				●	—	○	—	○
	社川幼稚園園庭				●				—	○	—	—
17	近津幼稚園施設内	下山本字久保田 11-1	P43	●				●	○	○	○	○
	近津幼稚園園庭				●				○	○	○	—
18	旧棚倉高等学校校庭	棚倉字堂ノ前 14	P24・25		●				○	○	○	—
19	修明高等学校体育館・格技場	棚倉字東中居 63	P33	●				●	○	○	○	○
	修明高等学校校庭				●				○	—	○	—
20	棚倉町立図書館	棚倉字新町 21-1	P25	●				●	○	○	○	○
21	棚倉町保健福祉センター	棚倉字中居野 68-1	P25	●			●	●	○	○	○	○
22	ルネサンス棚倉	関口字一本松 43-1	P26				●	●	○	○	○	○

一時避難所・AED設置一覧

集会所などの一時避難所は、ご自分の判断により一時的に避難する場所です。一時避難所が危険になった場合（土砂警戒区域や浸水想定区域内にあり、その地区に避難勧告などが発令された時など）には、町が開設する指定避難所などの安全な場所に避難してください。

No.	名　称	所在地	掲載頁	指定緊急 避難場所 （屋外）	指　定 避難所 （屋内）	一　時 避難所	福　祉 避難所	AED	適合する災害種別			
									洪水	土砂 災害	地震	火災・ 他
23	棚倉保育園園庭	棚倉字南町 54-1	P25			●		●	○	○	○	—
24	七区集会所	棚倉字東中居 58-3	P33			●			○	○	○	○
25	関口集会所	関口字愛宕平 195-2	P25			●			○	○	○	○
26	仁公儀集会所	仁公儀字猿田 79-2	P25			●			○	○	○	○
27	花園集会所	花園字鹿子山 21-1	P25			●			○	○	○	○
28	馬場集会所	棚倉字馬場 32-2	P25			●			○	○	○	○
29	日向前集会所	棚倉字日向前 173-3	P24			●			○	○	○	○
30	14 区コミュニティセンター	棚倉字丸内 49-1	P24・25			●			○	○	○	○
31	上台集会所	上台字カハキ沼 37-2	P21・25			●			○	○	○	○
32	板橋集会所	板橋字西坪 12-1	P21			●			○	○	○	○
33	玉野多目的集会施設	玉野字天屋敷 126-2	P22			●			○	○	○	○
34	一色集会所	一色字栗ノ木 103-3	P18			●			—	○	○	○
35	福井集会所	福井字池下 59	P21			●			○	○	○	○
36	堤区コミュニティセンター	堤字羽黒西 13-1	P20			●			—	○	—	○
37	社川コミュニティセンター	逆川字山梨子山 7-16	P20・21			●			—	○	—	○
38	天王内集会所	天王内字屋敷 2-1	P20			●			—	○	○	○
39	金沢内集会所	金沢内字中背戸続 102-4	P20			●			—	○	—	○
40	小菅生集会所	小菅生字前畑 5	P20・24			●			○	○	○	○
41	瀬ヶ野多目的集会施設	瀬ヶ野字仲ノ町 81-3	P29			●			○	○	○	○
42	小爪・祝部内多目的集会施設	祝部内字清水内 151	P23			●			○	○	○	○
43	富岡集会所	富岡字寺ノ前 395	P24・32			●			○	—	○	○
44	山際公民館	山際字屋敷前 67-1	P31			●			○	—	○	○
45	強梨生活改善センター	強梨字岡ノ内 178	P31			●			○	—	○	○
46	下大梅集会所	大梅字曲屋 68	P30・31			●			○	○	○	○
47	大梅集会所	大梅字大岩平 156	P40			●			○	—	○	○
48	漆草集会所	漆草字仲折戸 125	P30・40			●			○	○	○	○
49	寺山集会所	寺山字亀崎 1-2	P33・43			●			—	○	○	○
50	双ノ平集会所	寺山字宮前 230-1	P44・46			●			○	○	○	○
51	八槻第４多目的集会施設	八槻字柳町 27	P43・45			●			○	○	○	○
52	下山本多目的集会所	下山本字小浜沢 2-1	P43			●			○	○	○	○
53	中山本下集会所	中山本字中ノ内 118-1	P43			●			○	○	○	○
54	中山本中組集会所	中山本字小鯨 102-1	P42			●			○	○	○	○
55	山本生活改善センター	北山本字前原 198-1	P42			●			○	○	○	○
56	下手沢集会所	下手沢字昭和 68	P32・33			●			○	○	○	○
57	祖父岡集会所	上手沢字井戸下 10-5	P33			●			—	○	○	○
58	上流集会所	流字能登田 61	P33			●			○	○	○	○

棚倉町 全体図



「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 293-619号」

棚倉町

※カット図接続線

※カット図接続線(20頁へ続く)

44

日本精工(株)福島工場

ニカキ

堤

池下

岩井戸

滝山

羽黒東

羽黒西

羽黒神社

羽黒下

池田

石舟

新石舟

中子山

追越

猪窪

土俵場

羽黒前

染

中内迎

芝原

橋場

牛方田

天神前

太田輪

社川

二渡

浅川町

滝輪

蔵石

森下

太田輪橋

台ノ上

古語宮

滝大川橋

日渡橋

水郡線

永昌寺

荒町西裏

背戸谷地

荒町

浅川同

新町

久保

堂平

小貫一番池

中ノ内

三斗蒔

ニシキ牧

鐘鋳神社

一色

カナイ神

栗ノ木

滑川橋

宮ノ前

N

浅川中

浅川小

浅川町役場

W

E

S

磐城浅川駅

本町

1:8,000

0m 200m 400m

社田

春日神社

新屋敷

賀貫沢

熊ノ堂

宿ノ内

小貫

ハヌキ沢

二カキ

郷蔵

小貫薬師堂

竹ノ内

カチヤ前

通段

34 一色集会所

ウノス

大代

簑輪

仲田

沖

池下

日本精工(株)福島工場

※カット図接続線

曲田

畑田

古薬師堂

松山下

南田

太夫内

塚田

天王前

田向

反田

樋越

石橋

宮後

作田

十二代神社

118

21

22

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域 凡例

土石流 特別警戒区域	急傾斜 特別警戒区域
土石流 警戒区域	急傾斜 警戒区域
土石流 危険渓流	土石流 危険区域
地すべり 警戒区域	地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

浸水深：～0.5m未満	浸水深：5.0～10.0m未満
浸水深：0.5～3.0m未満	浸水深：10.0～20.0m未満
浸水深：3.0～5.0m未満	ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

1 緊急避難場所・避難所　異常気象時通行規制区間

詳細図 No.1

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

土石流 特別警戒区域	急傾斜 特別警戒区域
土石流 警戒区域	急傾斜 警戒区域
土石流 危険渓流	土石流 危険区域
地すべり 警戒区域	地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

浸水深：～ 0.5m未満	浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
浸水深：0.5 ～ 3.0m未満	浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
浸水深：3.0 ～ 5.0m未満	ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

① 緊急避難場所・避難所　異常気象時通行規制区間

※カット図接続線（17頁へ続く）

表郷深渡戸　大山　札場　西原　森前　大山　トン松　白河市　東　森前　熊野神社　久保　岩井戸　池田　羽黒下　羽黒東　池下　薬師下　長慶寺　羽黒西　堤区コミュニティセンター　上谷地　稲田　岩井戸　塚田　西下町　堤　表郷堀之内　作田　久保田　川田　二枚橋　堤　反リ多　童里夢橋　作田　作田橋　社川　町田　久保田橋　谷地　川向　表郷下羽原　細町　中田　棚倉町　北新田　天王内　社川橋　拾石橋　玉野関　下原　表郷河東田　三森橋　社川　反リ多　八斗蒔　新割　金沢内　四駄刈　向原　背戸山　沖ノ内　五斗蒔　十七田　堀合　日照田　石橋　柳町　清水　下谷地　上丁　月桜　下道下　下原道上　都々古下　下原　大池　中背戸続　鹿嶋神社　吉田　アンダーパス　中背戸　三本柳　北原地　三角原　豊田　池下　逆川　南原　檜木川　前山　不動沢　表郷三森　大沢　五輪割　塚本　熊ノ前　天王神社　大窪　前山割　大池　大谷地　東防シ多　中ノ町　上ノ台　盗人沢　中背戸続　金沢内　山ノ神　塚田　若杉　入日向　胡麻沢　若杉　十二社神社　新田　小菅生　石田　仲ノ町　瀬ケ野　新熊ノ坂　屋敷前　家ノ前　中畑　前畑　上石田　東畑　座当　長峰　扇田　熊ノ坂　柿木　堂前　爪切　檜木　仲ノ町

⑦ 金沢内運動広場　㊴ 金沢内集会所　㊵ 小菅生集会所　㊳ 天王内集会所　㊱ 堤区コミュニティセンター　㊲ 社川幼稚園　⑯ 社川コミュニティセンター

N　W　E　S

1:8,000　0m　200m　400m

17 18 20 25 26

浅川町 棚倉町 堤 反田 塚田 宇迦下 天王前 田向 曲田 社 宮前 西下町 藤葉 上宇井 藤葉橋 福井 宇井前 宇迦神社 池下 中丸 上堀 福井集会所 35 宮後 樋越 石橋 宇迦神社 道位 道ケ作 新道ケ作 地新防 玉野 玉野多目的集会施設 33 天屋敷 仲島 東宅地 屋敷 天野神社 川添場 細町 作田 蟹沢 簑輪 十二代神社 中ノ町 森下 長峰 五輪堂 N W E S 1:8,000 0m 200m 400m

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域 凡例

土石流 特別警戒区域 / 急傾斜 特別警戒区域
土石流 警戒区域 / 急傾斜 警戒区域
土石流 危険渓流 / 土石流 危険区域
地すべり 警戒区域 / 地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

浸水深：～ 0.5m未満 / 浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
浸水深：0.5 ～ 3.0m未満 / 浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
浸水深：3.0 ～ 5.0m未満 / ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

1 緊急避難場所・避難所 / 異常気象時通行規制区間

水部線 赤子墓 反畑 六斗 平治田 中田 東坪 古畑 北堂 大久保 山陰 袖山 長峰 大清水池 日照田 向原 豊田 逆川 一里橋 中丸 社川橋 拾石橋 下原 社川運動広場 6 社川幼稚園 37 16 社川小学校 10 山梨子山 池下 社川コミュニティセンター 大池 大谷地 カハキ沼 行人塚 上台集会所 31 上台 長峰 愛宕平 大清水 中ノ町 西坪 板橋集会所 32 板橋 兼塚 蟹沢 東作 小板橋 タリカ清水 清水橋 古宿 仁公儀 猿田 花園 調練場 川原田 根岸 戸花 緒田 袖山 浅川町 棚倉町

21 22

※カット図接続線 29頁へ続く

白河市
表郷下羽原

棚倉町

屋敷前
扇田
仲ノ町
熊ノ坂
清水前
大竹川
胡麻沢
小菅生
祝部内
清水内
小富士山
小爪
森ノ前
新森ノ前
柳平
山下
前沢橋
小爪橋
山下橋
新権現下
小富士橋
権現下
大竹川 局管理橋
十二社神社
小爪・祝部内 多目的集会施設 42
富士淺間神社
月山

家ノ前
中畑
前畑
柿木
堂前
爪切
才梶沢
南畑
棚倉

東畑
上石田
座当
長峰
千代田
おお畑沢
檜木
檜木川
上台
関上橋
大山祇神社
三斗蒔
関ノ上
松沢
赤坂大橋
檜木一号橋
若林
後寺
才勝沢
豊口
永沢
14区コミュニティセンター 30
白川神社
丸内
25

N
W
E
S

0m 200m 400m 1:8,000

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

土石流 特別警戒区域	急傾斜 特別警戒区域
土石流 警戒区域	急傾斜 警戒区域
土石流 危険渓流	土石流 危険区域
地すべり 警戒区域	地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

浸水深：～ 0.5m未満	浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
浸水深：0.5 ～ 3.0m未満	浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
浸水深：3.0 ～ 5.0m未満	ため池浸水エリア

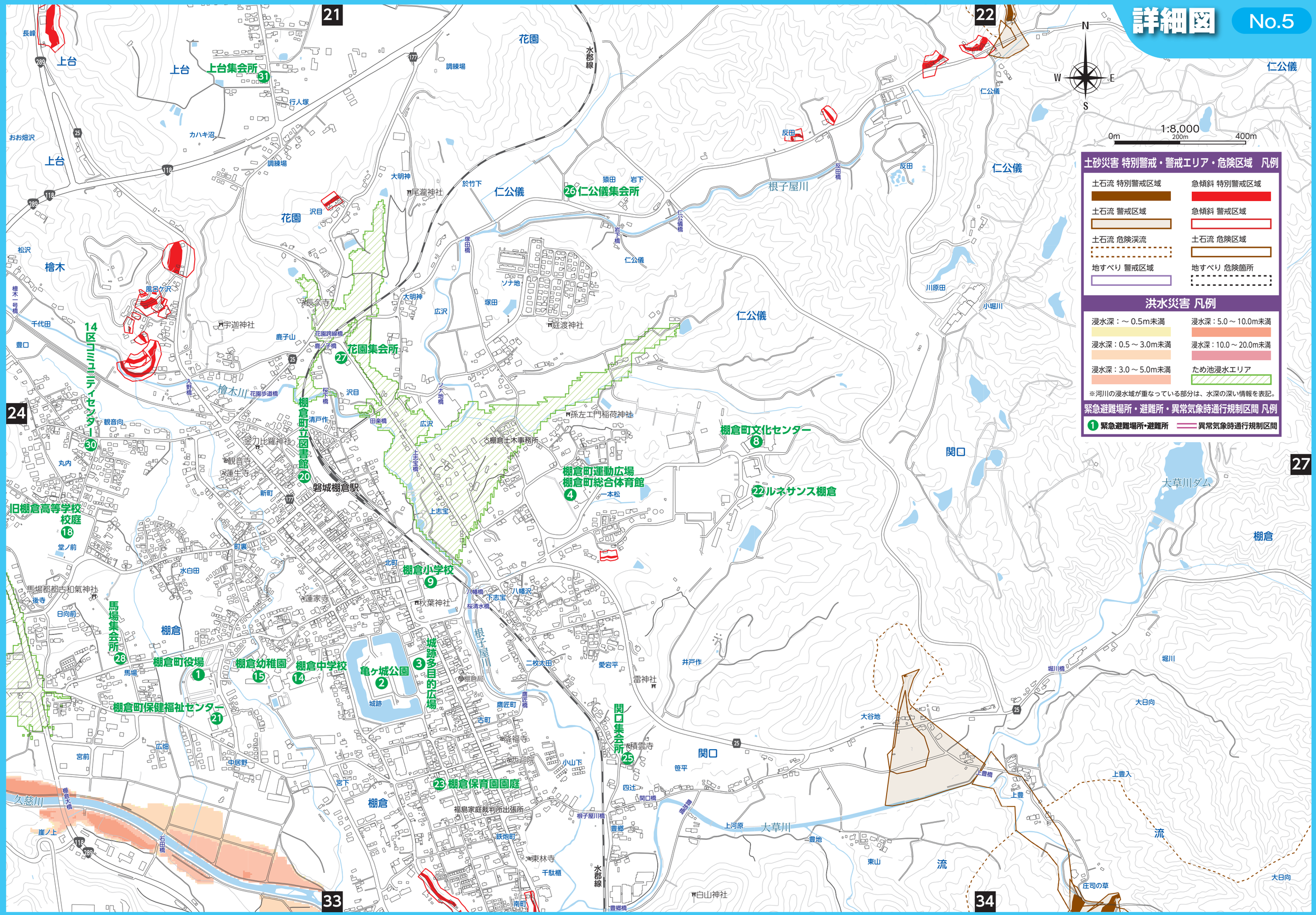
※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

1 緊急避難場所・避難所　異常気象時通行規制区間

五升時
才勝沢橋
松ノ木平橋
大竹川橋
関口平
田中前橋
富岡
富岡橋側道橋
富岡橋
田中前
富岡集会所 43
下ノ原橋
祝部内
才勝沢
切貫神社
日向前集会所 29
日向前
才竜地
諏訪神社
下ノ原
広畑
平成
宮前
矢近
久慈川
崖ノ上橋
崖ノ上
棚倉
旧棚倉高等学校 校庭 18
堂ノ前
馬場都都古和氣神社
後寺
日向前

詳細図 No.5


21
22
24
27
33
34
N
W
E
S
0m
200m
400m
1:8,000
土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例
土石流 特別警戒区域
急傾斜 特別警戒区域
土石流 警戒区域
急傾斜 警戒区域
土石流 危険渓流
土石流 危険区域
地すべり 警戒区域
地すべり 危険箇所
洪水災害 凡例
浸水深：～ 0.5m未満
浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
浸水深：0.5 ～ 3.0m未満
浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
浸水深：3.0 ～ 5.0m未満
ため池浸水エリア
※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。
緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例
1 緊急避難場所・避難所
異常気象時通行規制区間
上台集会所 31
仁公儀集会所 26
花園集会所 27
棚倉町立図書館 20
14区コミュニティセンター 30
旧棚倉高等学校校庭 18
馬場集会所 28
棚倉町役場 1
棚倉幼稚園 15
棚倉中学校 14
亀ヶ城公園 2
城跡多目的広場 3
棚倉小学校 9
棚倉町保健福祉センター 21
棚倉保育園園庭 23
関口集会所 25
棚倉町文化センター 8
棚倉町運動広場
棚倉町総合体育館 4
ルネサンス棚倉 22
碧城棚倉駅
水郡線
根子屋川
棚倉
関口
仁公儀
上台
花園
檜木
大草川ダム

1:8,000
0m 200m 400m

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 土石流 危険渓流
- 土石流 危険区域
- 地すべり 警戒区域
- 地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

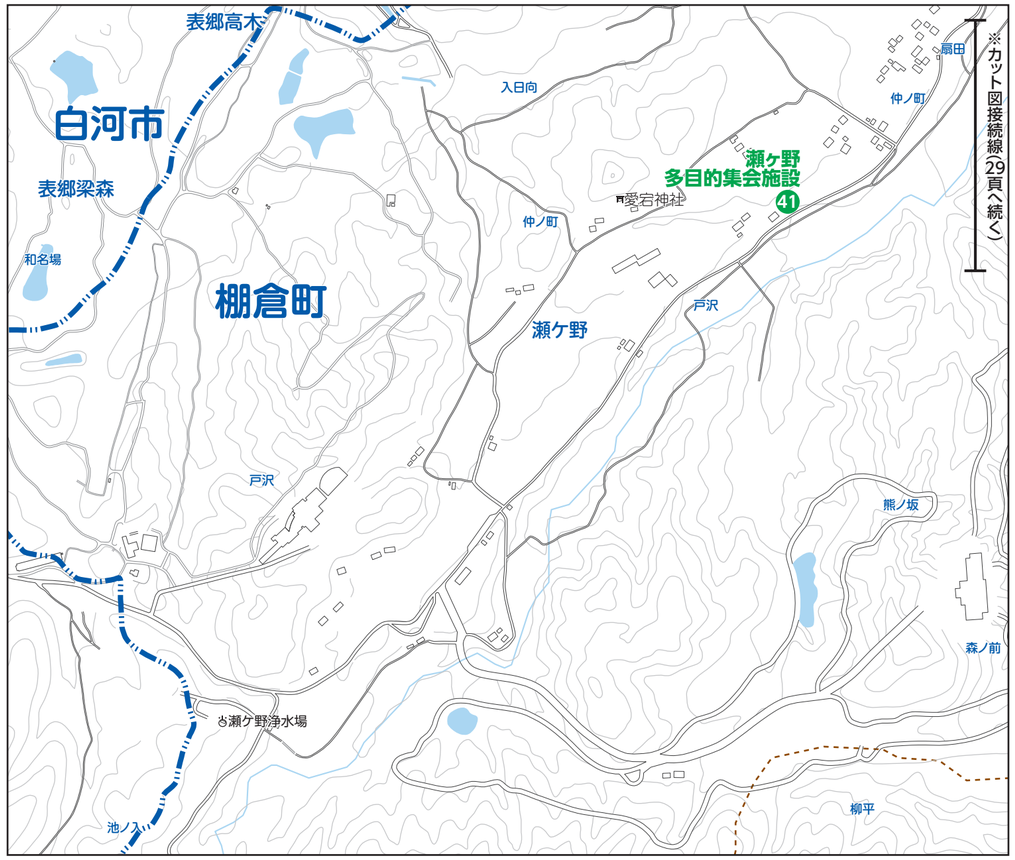
- 浸水深：～ 0.5m未満
- 浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
- 浸水深：0.5 ～ 3.0m未満
- 浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
- 浸水深：3.0 ～ 5.0m未満
- ため池浸水エリア

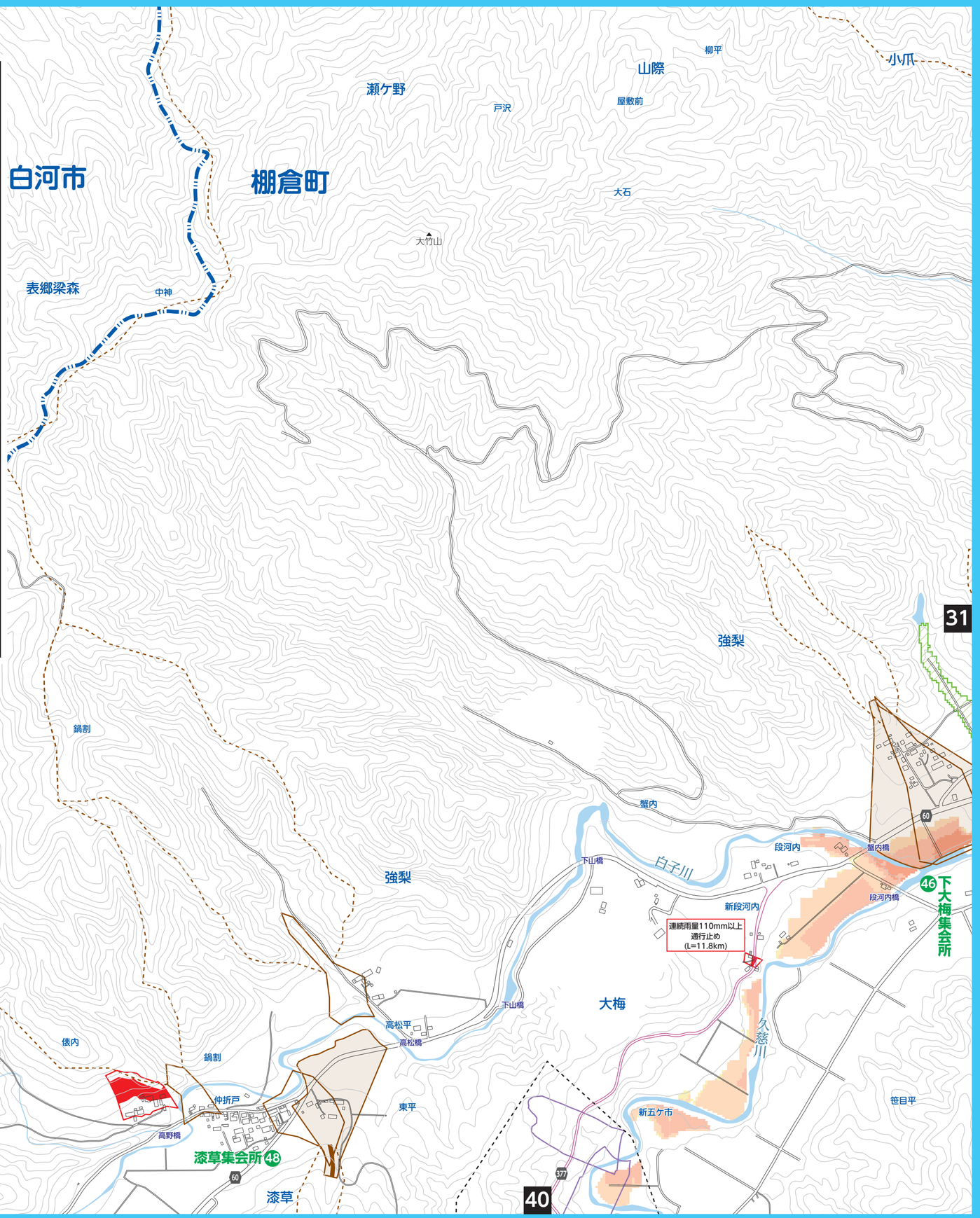
※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

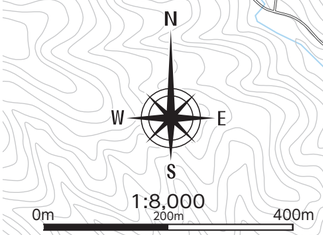
緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

- 1 緊急避難場所・避難所
- 異常気象時通行規制区間

浅川町
仁公儀
石橋
中谷地
平
大草
浜井場
引地作
殿内
殿内前
滝ノ沢
滝ノ沢前
岡野内
大草
棚倉町
棚倉
堀川
板倉
板倉畑
堀川橋
上場
大草
浅川町
火打石
上野町
26
浅川町
弥五郎内
大草川橋
75
N
W
E
S
鮫川村
棚倉
踏切沢
棚方前
板木
弥五郎内
殿上橋
五斗蒔橋
八景谷橋
和台
平田
市渡戸
細茅
堀川
25
畑矢中
大草
山田
近津神社
杉ノ入
芳ノ木
綱洗場
金堀沢
流
地獄沢
大日向
北大犬沢
山田
高柴
宮通り
山田
山田
細茅
35
36







土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

土石流 特別警戒区域	急傾斜 特別警戒区域
土石流 警戒区域	急傾斜 警戒区域
土石流 危険渓流	土石流 危険区域
地すべり 警戒区域	地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

浸水深：～ 0.5m未満	浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
浸水深：0.5 ～ 3.0m未満	浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
浸水深：3.0 ～ 5.0m未満	ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

1 緊急避難場所・避難所　異常気象時通行規制区間

詳細図 No.7

詳細図 No.8

23 24 30 33 41 42

31 32

N W E S

1:8,000

0m 200m 400m

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 土石流 危険渓流
- 土石流 危険区域
- 地すべり 警戒区域
- 地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

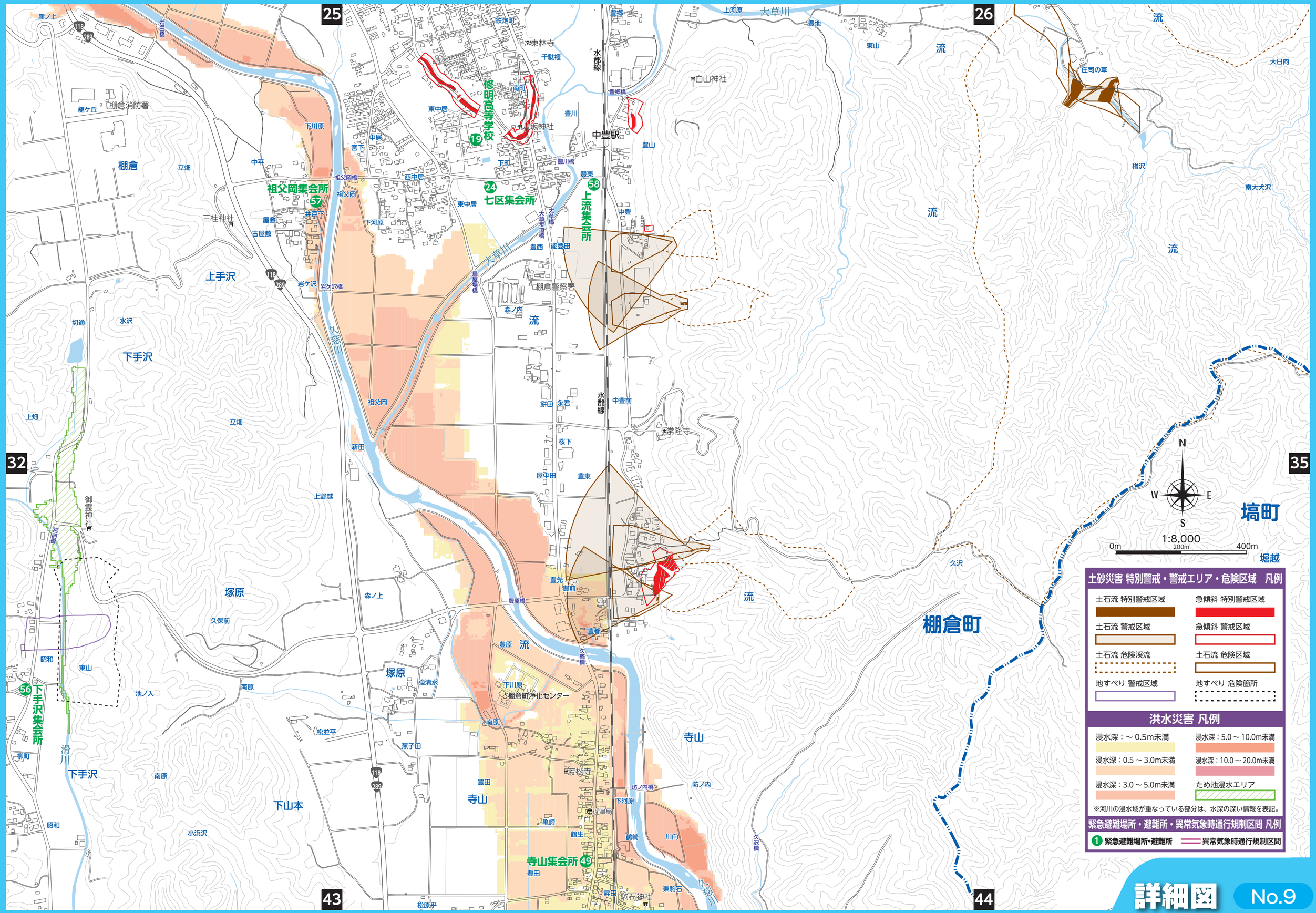
- 浸水深：～ 0.5m未満
- 浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
- 浸水深：0.5 ～ 3.0m未満
- 浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
- 浸水深：3.0 ～ 5.0m未満
- ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

- 1 緊急避難場所・避難所
- 異常気象時通行規制区間

富岡 寺ノ前 小爪 山際 強梨 坊ノ内 大岳 大石 柳平 仙石 屋敷前 新早稲田 小斗蒔 富岡集会所 下ノ原橋 下ノ原 下河原 寺ノ前 法度山 蔵光寺 東白川高野簡易局 久慈川 地割 下平橋 岸 上手沢 福岡 下平 早稲田橋 地蔵橋 崖ノ上 館ケ丘 切通 後藤内 館ケ沢 上畑 手澤神社 中河内 豊内 中島 四ツ長 滑川 田ノ作 塩沢 中平 塩地内 寺木 下手沢 円間 昭和 東山 西ノ内 塲田 普門院天澤寺 柳町 根来 湯在家 三斗蒔 穴ケ沢 岡野橋 岩井戸 松草平橋 岡ノ内橋 松草平 岡ノ内 蟹内 蟹内橋 段河内橋 曲屋 仲平 笹目平 西ノ入 大梅 根渡神社 二嶋神社 富士衣神社 高野小学校 山際公民館 強梨生活改善センター 下大梅集会所 下手沢集会所 富岡集会所



土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

土石流 特別警戒区域	急傾斜 特別警戒区域
土石流 警戒区域	急傾斜 警戒区域
土石流 危険渓流	土石流 危険区域
地すべり 警戒区域	地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

浸水深：～ 0.5m未満	浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
浸水深：0.5 ～ 3.0m未満	浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
浸水深：3.0 ～ 5.0m未満	ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

1 緊急避難場所・避難所　異常気象時通行規制区間

詳細図 No.9

27

28

34

浅川町

棚倉町

塙町

旧山岡小学校

住吉神社

地獄沢
大日向
北大犬沢
金堀沢
大草
平田
流
流山
南大犬沢
山田
高柴
宮通り
土橋
長久保
切通
上ノ内
岡田
入沢
二ツ川
鍋沢
1号橋
2号橋
下平
稲荷窪
菅ノ沢
下の橋
古々利松
千保
住吉
長綱
猪鼻
上台
堺橋
太鼓舘
東河内
湯沢
一本木
出戸
秋葉下
北向橋
成沢橋
堀越
西河内
妻沢
細茅
篠立
入山

N
W
E
S
1:8,000
0m
200m
400m

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 土石流 危険渓流
- 土石流 危険区域
- 地すべり 警戒区域
- 地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

- 浸水深：～ 0.5m未満
- 浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
- 浸水深：0.5 ～ 3.0m未満
- 浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
- 浸水深：3.0 ～ 5.0m未満
- ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

- 1 緊急避難場所・避難所
- 異常気象時通行規制区間

詳細図 No.10

35

36

N
W
E
S
1:8,000
0m
200m
400m

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 土石流 危険渓流
- 土石流 危険区域
- 地すべり 警戒区域
- 地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

- 浸水深：～ 0.5m未満
- 浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
- 浸水深：0.5 ～ 3.0m未満
- 浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
- 浸水深：3.0 ～ 5.0m未満
- ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

- ① 緊急避難場所・避難所
- 異常気象時通行規制区間

棚倉町
白河市
表郷金山
小屋ノ沢
戸中
戸中
川前
那須道
異常気象時通行規制区間
戸中
39
やめめはし
背戸の沢橋
川前橋
熊野神社
白子川
戸中橋
白子川
60
栃木県
異常気象時通行規制区間
連続雨量150mm以上通行止め
(L=6.1km)
大森橋
福島県
棚倉町
戸中
那須町
那須道

詳細図 No.11

29

30

38

41

N

W

E

S

1:8,000

0m 200m 400m

仲折戸

東平

高野橋

漆草集会所 48

漆草

強梨

戸中

高内

戸中

白子川

強梨

倹内

西平

西平橋

高内橋

連続雨量150mm以上通行止め
(L=6.1km)

漆草

大岩平

新五ケ市

笹目平

大梅橋

八溝嶺神社

久慈川

大梅

新五ケ市

石田

新大岩平

大岩平橋

小空沢橋

佛性寺

中山本

47 大梅集会所

大岩平

大岩平橋

白毛角

久慈川

五ケ市

白毛角

入梅平橋

大梅

戸中

戸中橋

60

白子川

白子1号橋

白子2号橋

377

異常気象時通行規制区間

連続雨量110mm以上
通行止め
(L=11.8km)

入梅平

大内

中山本

蒲沢

居伝金

小太郎

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

土石流 特別警戒区域	急傾斜 特別警戒区域
土石流 警戒区域	急傾斜 警戒区域
土石流 危険渓流	土石流 危険区域
地すべり 警戒区域	地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

浸水深：～ 0.5m未満	浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
浸水深：0.5 ～ 3.0m未満	浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
浸水深：3.0 ～ 5.0m未満	ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

1 緊急避難場所・避難所　異常気象時通行規制区間

詳細図 No.12

笹目平
仲平
大梅
西ノ入
久慈川
石田
中山本
福岡
塩沢
穴ケ沢
岩井戸
中山本
松場
大内
小山
小山田川
芝原
松場
上ノ平
小山
草刈場
背戸山
七曲
小鯨
上飯森塚
井戸沢
苗代免
穴ケ沢
樋ケ沢
石神田
柿ノ草
小山
小山田
柿ノ木平
小山田沢3号橋
山口
大林
坂下橋
前田
渡戸
平居橋
通路橋
金山
菖蒲沢
大金
熊野神社
居伝金
北山本
近津川
狐塚
居伝金
菖蒲沢
中町
川原
鯨前
高瀬
小鯨
五来橋
大門
宮川
清水田
前原
勝台沢
北山本
岩ケ沢
柴平
平塩
平塩大橋
平居橋
宮川
大平
八槻
水抜原
水口
熊野神社
畑ケ田
中ノ内
刀沢
たら久保
中山本
後山橋
滑川
扱久保橋
刀沢
葉草平
東山
滑川
三斗蒔
下手沢
昭和
薬師堂
北向橋
高渡
近津川
小檜沢
サガクサ
後沢
ザラメキ
宮川橋

集会所 中山本中組
山本生活改善センター

※カット図接続線（45頁へ続く）

N
W
E
S
1:8,000
0m 200m 400m

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

土石流 特別警戒区域	急傾斜 特別警戒区域
土石流 警戒区域	急傾斜 警戒区域
土石流 危険渓流	土石流 危険区域
地すべり 警戒区域	地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

浸水深：～ 0.5m未満	浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
浸水深：0.5 ～ 3.0m未満	浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
浸水深：3.0 ～ 5.0m未満	ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

1 緊急避難場所・避難所　異常気象時通行規制区間

33 34 42 45 46

昭和 小浜沢 亀崎 鶴生 鶴崎 川向 久沢橋 寺山集会所 49 豊田 昇田 駒石神社 東駒石 松原平 六角堂 高瀬田 近津駅 近津幼稚園 17 反田 近津小学校 12 久保田 柳町 鷹ノ巣 豊岡 寺山 堀越 妻沢 小高 金堀沢１号橋 堀木田 小高橋 機折沢 小高妙見神社 二升蒔 滑川 下手沢 東山 中山 下山本 小浜沢 松並平 松原 下山本多目的集会所 52 下木曽 六石平 左近田 桃木田 北駒石 久沢 後山橋 滑川 蛭内 前ケ平 木曽前 岩坂 愛宕平 中山本 扱久保橋 古塙 萩平 五斗蒔 神主免 近津跨線橋 久保川橋 堂ノ沢 大豆柄 新豊岡橋 北 刀沢 上平 近津川 八槻都々古別神社 駒石 中ノ内 後山 滑川橋 古塙橋 滑川 53 中山本下集会所 高渡 上台 5 近津運動広場 寅刻神社 南駒石 長畑 畑ケ田 如意輪寺 八槻 岩下 畑ケ田 新豊岡 都々古橋 堀ノ内 高倉 山崎 大宮 猪獅子沢 堀越 堀合 熊野神社 亀ノ江 西河内 近津川 大平 八槻 亀作 上久保 下馬橋 宮前 寺山 中平 水郡線 遠鳥居 西畑 久慈川 大黒田 北新田 双の平橋 一本木 山崎 昭和橋 いづめ橋 最乗橋 豊作橋 八槻第４多目的集会施設 51 柳町 八坂神社 二柱神社 守崎 創徳寺 50 双ノ平集会所 棚倉町 塙町 中萩平 豊作 脇沢 八ツ脇 宮前 和久 南新田 原前 妻ノ沢 樋ケ沢 八斗蒔 水抜沢

N W E S

1:8,000 0m 200m 400m

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 土石流 危険渓流
- 土石流 危険区域
- 地すべり 警戒区域
- 地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

- 浸水深：～ 0.5m未満
- 浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
- 浸水深：0.5 ～ 3.0m未満
- 浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
- 浸水深：3.0 ～ 5.0m未満
- ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

- 1 緊急避難場所・避難所
- 異常気象時通行規制区間

43

44

土砂災害 特別警戒・警戒エリア・危険区域　凡例

土石流 特別警戒区域	急傾斜 特別警戒区域
土石流 警戒区域	急傾斜 警戒区域
土石流 危険渓流	土石流 危険区域
地すべり 警戒区域	地すべり 危険箇所

洪水災害 凡例

浸水深：～ 0.5m未満	浸水深：5.0 ～ 10.0m未満
浸水深：0.5 ～ 3.0m未満	浸水深：10.0 ～ 20.0m未満
浸水深：3.0 ～ 5.0m未満	ため池浸水エリア

※河川の浸水域が重なっている部分は、水深の深い情報を表記。

緊急避難場所・避難所・異常気象時通行規制区間 凡例

1 緊急避難場所・避難所　異常気象時通行規制区間

※カット図接続線（42頁へ続く）

N W E S

1:8,000

0m 200m 400m

棚倉町 塙町 八槻 台宿 北山本 寺山 上渋井

柳町 八槻第4多目的集会施設 51 豊作 八ツ脇 脇沢 中萩平 一本木 八坂神社 和久 南新田 原前 宮前 双ノ平集会所 50 創徳寺 立石 妻ノ沢 水抜沢 守崎 鶴巻田 竹田 梅田 寺沢 松岡 古参田 市ノ沢 水郡線 熊野神社 熊野平 岩下 年久橋 安久津 仲岡 館山 上稲沢橋 上稲沢 前田橋 鹿野沢橋 鶴巻沢橋 棚倉橋 柳原 津島川原 安久津下 寄居 久保田 寄居下 松岡橋 松岡橋側道橋 118 松ノ木田 塚田 下ノ平 米山薬師奥之院 米山 北野神社 胡桃下 中稲沢 滝沢橋 材木町 大町1丁目 大町2丁目 末広町 大町4丁目 大町3丁目 磐城塙駅 宮田町 沼ノ上 古峯神社 塙町役場 塙局 塙 稲沢川 稲沢 下稲沢 米山神社 230 231 不動大橋 前ケ峰 檜沢内 宮川 ザラメキ 小檜沢 宮川橋 サガクサ 後沢 山本不動尊 大同橋 檜沢 不動橋 開運橋

災害に適した冷静な行動があなたの命を救います

インターネットを利用したリアルタイム情報提供

令和3年3月より、大雨・洪水警報の危険度分布情報サイトが発信されました。『危機（キキ）』が『来る（クル）』のを一目で確認できる、愛称『キキクル』が活躍しています。
その他、国や県では河川情報を提供しています。日頃からアクセスし扱いに慣れるようにしてください。

キキクル

・パソコン、スマートフォンから
https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=class20s&area_code=0748100&pattern=rain_level

国土交通省「川の防災情報」

・パソコンから　https://www.river.go.jp/
・スマートフォンから　https://river.go.jp/s/

福島県「河川流域総合情報システム」

・パソコン、スマートフォンから
https://kaseninf.pref.fukushima.jp/gis/

本書の使い方

本書は、いつ起こるかもしれない様々な災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、常日頃から内容に目を通し理解を深めておきましょう。

本書は、災害時に持ち運びができるように冊子型として作成しました。通常時は、壁などにピン留めして掲示するか、ヒモなどでつるし身近に置き、緊急時に持ち出してご活用ください。

発行：棚倉町（問い合わせ：住民課 0247-33-2116）
https://www.town.tanagura.fukushima.jp/
制作・著者：株式会社ゼンリン 郡山営業所
作成：令和4年2月

「この地図は、棚倉町長の承認を得て、同町発行の棚倉町都市計画図を使用して作成したものです。（2整第261号）」
「この地図は、福島県の測量成果を使用したものである。（令和2年1月14日付け元森第2943号にて承認）」